

瑞岩寺報

2014.01.01
(平成26年 睦月)

【正月号】

お正月総合案内

お正月ご祈禱法要

お正月は毎日、天地が招福除災を祈念する大般若ご祈禱を勤行します。
お正月は前年の悪を反省し、新たな年の誓いを立てる、年初めにふさわしい行事です。

ご祈禱は左記の通り行われます。

厄年厄除・病氣平癒・交通安全・良縁成就・開運厄除・家内安全・無事成就・商売繁盛・学業成就・試験合格などのご祈禱のお申し込みは同封の申込書をお寺まで持参されるか、ファックス(37-5535)してください。

【期 日】 1月元旦(水)

1月2日(木)

1月3日(金)

【時 間】

午前9時・10時・11時
午後1時・2時・3時頃の6回
◎ご祈禱可能です。

【ご祈禱料】

ご祈禱紙札(小) 3,000円
ご祈禱木札(中) 5,000円
ご祈禱木札(大) 10,000円
ご祈禱木札(特大) 20,000円

【お願い】

- 一、お願い毎は二つまでにしてください。
- 一、ご祈禱札にはお守りがつきます。
- 一、法要後、ご祈禱札をお持ちください。
- 一、法要にはなるべく本人がご参加ください。
- 一、希望の方には郵送しますので申し付けください。

年始参詣

【期 日】 1月元旦〜3日

【時 間】 午前7時頃〜午後5時まで

※本堂にて新年の挨拶をされた方に、瑞岩寺の新年祈禱札と平成26年度本山カレンダーをさしあげます。是非、皆様お揃いで気軽にお出かけ下さい。



お墓そうじ 瑞岩寺にお墓のある方へのご案内です

【期 日】 12月29日(日)

【時 間】 午前7時から

お正月が近づいてきました。お墓のお掃除をしましょう。この暮のうちに仏壇をきれいにして鏡餅を供え、お花を飾り準備を整え、元旦早朝、若水を汲み供え、一家そろって仏壇に手を合わせ、よき新年をお迎えになることは、私たちの善行の始まりだと思います。さらに、お寺に参拝してご先祖様に感謝の誓いを祈ることこそ意義深い初詣になると思います。一斉お墓掃除を右記のごとく行います。たまには早起きしてお墓掃除も気持ちいいものです。お子さんやお孫さんといっしょにどうぞ。

厄年早見表

◇からだの変わり目◇

| | 後 厄 | 本 厄 | 前 厄 |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 男の大厄 | 42歳 昭和47年 | 48年 昭和48年 | 49年 昭和49年 |
| 女の小厄 | 37歳 昭和52年 | 53年 昭和53年 | 54年 昭和54年 |
| 女の大厄 | 33歳 昭和56年 | 57年 昭和57年 | 58年 昭和58年 |
| 男25歳の厄年 | 平成元年 | 平成2年 | 平成3年 |
| 女19歳の厄年 | 平成7年 | 平成8年 | 平成9年 |
| 幼児4歳の厄年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 |
| 男女61歳の厄年 | 昭和27年 | 昭和28年 | 昭和29年 |
| 13歳詣り | 平成14年 男女 | | |

Attention!

以下の点に留意ください。

「お祈禱法要について」

お祈禱札について、申込書を持参、またはファックスしてください。
※ご祈禱料の振込用紙を同封します。
市内・県内外の方は同封の振込用紙をお使いください。
※ホームページからダウンロードできます。

- ◆強制ではありません。また、上記以外の日や時間も受け付けております。
- ◆自分のお墓の掃除が終わったら、通路など共有の場所のお掃除も積極的にお願います。
- ◆遠方の方はお寺でやっておきますのでご安心ください。
- ◆飲み物はお寺で用意してあります。

花園大学及び関西大学客員教授

水谷 修さん

インタビュー

副住職

本日は、お忙しい中わざわざインタビューの時間をとお取りいただきまして、誠にありがとうございます。

水谷

どうぞ何でもお聞きになってください。

副住職

先日、先生の近著『世回り先生幸福論』を読ませて頂きました。また、ラジオやマンガ等も拝見させて頂きました、まるでお坊さんが話しているのかなと思うぐらい、私たちが日々説いていることと似ていると感じました。その中で先生が人生をかけて夜の世界に飛び込み、悩んだり苦しんだりしている子どもたちに触れ合い、救援活動を

されている。先生をそこまで突き動かした強烈な動機というのが疑問だったのですが、それが一体何だったのでしょうか？

水谷

僕は父親を3歳のときに亡くして祖母のところに預けられて育ちました。決して不幸ではなかったけれど、貧しかったし、常に愛を求めていた。遠く離れた母と一緒にいたかったし、常に寂しさの中で生きていました。その中で世の中は矛盾していると思いました。貧しい人間や捨てられた人間がいて、努力しても幸せになれない。その矛盾を解決するために、僕も中学くらいから左翼活動に入りました。ところが、ご存知の通り70年安保が僕が中2の時であり、高校のころに

はズタズタになっていました。そして、一部の方々が先輩を含めてどんどん赤軍あるいは京浜安保あるいは革労協・中核・革マルと、いわゆる先進化していき、仲間どうしも殺し合いをするようになった。

そんな中でふと気付いたのが、本当に不幸な人をこの世からなくすには、一人一人の人間が変わるしかないだろうということでした。政治体制がどんなものであれ、一人一人の人間がいい人間になって、みんなが譲り合って助け合って富を分け合えば、何の問題もない幸せな世界ができるし、それしか答えはないだろうということでした。それならば先生になろうと思いました。先生ならば授業のなかで子供達に教えられる、変えていける。そして、その子たちがまた教えていけばいい。とっても時間はかかるけれども、それしかないだろうと思ひ、そんな形で考えて教員になりました。

でも教員になったころは驕りがありました。養護学校ではご飯食べさせたりおむつ替えをしたりします。勤めて三ヶ月目の6月でした。菊池君って

う、僕の関わっていた重度の心身障害の子がうんちをもらした。トイレのところにシャワールームがあるので、きれいに洗ってあげて新しいおむつと洋服を着せてあげるわけです。僕の担当の子ですから。その時に、いやいややっていますからお湯になるのをまたないで水をかけたんですよ。「ギャー」って言いましてね。それを先輩教員が、何かやるだろうと思って心配で見に来ていました、胸ぐらつかまれてぶん殴られました、「お前は何様だ。」と「何を考えているんだ。」と「この子はお前を頼っているのに、お前を信じているのにお前は何てことしてるんだ。」と「お前そんなに偉い教員か？」と言われましてね。ふとおちましたね。「教員というのは自分が教えたいとか子供をつくりたいじゃなくて、子供の求めに応えるものが教員のあるべき姿だろうと。」

5年ほど養護学校でお世話になりました、前の学校の教員たちが、「水谷、戻ってこいよ。」ということ受験校に戻りました。受験校にいたときは有名な受験の教員ですよ。でも結局、夜間に勤めている友達との一件で

夜間高校に行きました。夜間高校行ったら、その子供たちの求めに応じて「夜回り先生」をやりました。だから、子供の求めている姿にいつも自分になる。幸福とか幸せっていうものは、押し付けるものとかそういうものではないのではないか。山田無文老師というもうお亡くなりになった臨済宗の大老師が、「幸せってなんですか？」と問われてよく色紙にこう書かれた。「幸せ」と書いてその下に「わしゃいらん」と。そこに全てあるなと思いますね。僕にとつての「幸せ」っていうのは、やっぱり子供たちから必要とされて、子供たちから「ありがとう」とか、本当に子供たちが笑顔になつてくれる、それ以上の「幸せ」はないですね。

副住職

水谷先生は、仏教について、どうお考えですか。

水谷

私は、学生時代から、たくさんの仏教者の方々と触れあつて、また教えをいただいできました。そんなふれあいの中で僕は仏教思想には染められてい

ます。僕は仏教を宗教として捉えていません。人の生き方として捉えています。神と仏の違いは、神はこの世を創った人で我々になれるものではない。でも、仏は我々になるものであつて、間を繋いで下さるのが菩薩さま。我が道を自分で行くしかない。自力本願です。

末法の時代に、目の前で亡くなっていく方が、「お坊様、私は極楽に行けますか？」と言われたときに、「南無阿弥陀仏と唱えれば極楽にいけますよ。」と言つた法然さんや親鸞さんの優しさというのはとっても好きですけれど、それでも人生は自力本願の生き方を説く道だろーう思います。

また、古代仏教から含めて般若心経にはそのものが全てあの中に集約されていると思います。僕はそれを子供たちに伝えたい。僕は未だかつて、ただの一人の生徒を救つたこともない。警察を動かすとかいうのはあるけれども、それは救うのではなくて智慧を使つただけです。生き残つた子供たちは、自分の力でちゃんと明日を自分で作っています。僕は教員だから良かつ

たと思っています。教えるのが仕事で経験を語るのが仕事。僕はそれを教員として繰り返しているだけです。だって考えてみて下さい。誰かにトイレ行つてもらつたら、トイレに行かなくて済むわけじゃありません。誰かにご飯食べてもらつたら、お腹がいっぱいになるわけじゃない。トイレもご飯も自分でしなければいけません。自分の人生も、誰かに寄りかかるのではなくて、それなりに自分で生きなければならぬ。

でも、ただしがあるんです。マスクミとかテレビの影響もありますが、人が分相応を忘れているではないかと。

副住職

分相応を忘れている？

水谷

そう。分相応。例えば、体の不自由な子供をかわいそうだと思う人は傲慢ですよ。その子にはその子なりの分相応、幸せがあります。たとえば、重度心身障害で菊池君っていう僕が水をかけた子は、特別な才能がありまして

ね、あの当時13人の子供を4人の教員で受け持っていました。大変ですから時々我々4人がイライラすることがあります。ケンカになりそうになるんです。「お前何やってんだ」とか。その瞬間に菊池が「ケ、ケ、ケ」って笑うんです。あの子殺気がわかる。その時に彼の「ケ、ケ、ケ」を聞くと、「おい菊池が笑ってる、もう止めようやめよう、菊池ごめんな」って言うと、彼はうれしそうに微笑むんです。それぞれの分があると思うんですよ。

ところが、「やればできる」とか、みんなが画一した頭の論理構造のなかで画一した「幸せ」、お金を持つとか権力とか、これが世の中を悪くしていると思います。貧しいから悪いわけじゃない。物が無いから悪いわけじゃない。もっと大切なものがある。それぞれの人間が自分の分相応を決めればいいと思います。僕にできるのは、子供に寄り添つてまた同じことをただ繰り返して、いずれあの世に行くことだけです。

副住職

先生にお聞きしたいのですが、お亡

くなりました。お子さんたちもいらっしやると思いますが。

水谷

128人になりました。この3週間で3名増えました。

副住職

あまり思い出したくないでしょうが、今までで一番つらかったことは？

水谷

沢山あります。第1番目に僕が殺したのは、マサフミっていう男の子でした。シンナー乱用繰り返す子で、「先生の家行ったらシンナー止められる」とって言って、私の自宅で1週間から10日止めさせた。でも帰すとまた使う。もう一回私の自宅に呼んで三ヶ月中断そんな生活をした。そんな6月の末に僕のところへ新聞持ってきて、「俺やつと分かったんだ。水谷先生じや俺のシンナー治せないよ。この新聞に書いてある。シンナー・覚せい剤・大麻・ドラッグをやめられないのは依存症という病気で、病気は専門病院の専門医師の治療じゃないと治らないって書いてある。」と。「ここに神奈川

県立セルゲイ病院っていう病院がでて」と。「セルゲイはうちの隣だから連れていけよ」って。カチンときましてね。こいつ自分が根性ないからやめられないのに、薬物の乱用なんか何も

当時は知らなかったから、冷たかったですよ。「先生の家今日行っているか？」って聞くものですから、「だめだ、今日は忙しい。警察行くんだから」。嘘ですよ。帰って追い出したその4時間後に、自宅近くでシンナー仲間と吸って、フラフラになってダンブに飛び出して死にました。帰せばシンナー使うことを僕は知っていた。必ず使うのは分かっていた。カッとなくて後悔しましたね。葬式の骨上げの時間なんか骨まで出なかった、シンナーは骨までボロボロにします。

あの日からですね、薬物と戦うようになったのは。今だって心の病で亡くなった128名以外に、薬物で49名の子どもたちを亡くしてますけど、この子たちの三分の二以上は今の僕なら助けられる。僕の進歩が間に合わなかった。世の中の進歩が間に合わなかった。今なら薬物依存症を治療できる病院は沢山あります。でも22年前にはな

かった。全国に3つしかありませんでした。

リストカットとか自死の問題でも今ならいろんな所で、僕も有名になったおかげで電話一本でその地域で動いてくれて預かってくれる連中が今はいっぱいいます。間に合わなかったら、これはもう仕方がないです。受け入れるしかない。「生」と「死」は僕はこう見えています。「生」と「死」は寿命ですよ、特に「死」は。病気で人は死ぬのでもないし、事故で死ぬのでもない。自死で死ぬのでもない。やっぱり、大きな大きなこの宇宙の流れの中で定められた寿命、そう考えます。これは仏教者と同じだと思います。ですから、仏教者は葬式では泣かないはずです。成仏であり、それがその人の与えられた寿命だから。そう思うしかないと思います。

副住職

ありがとうございます。それでは、逆に今まででよかったこととか感動したことはいかがでしょうか？

水谷

それはたくさんありますね。この前、北海道の滝川の近くの奈井江町という小さな町で講演しました。奈井江町には6年前に行ってるんです。6年前に「死にたい、死にたい。」って言うっていた子・不登校だった子、2人の子が来てくれましたね、今1人の子は結婚して、赤ちゃん連れてきてご主人と一緒に来て「幸せです。」って言うっていました。もう1人の子は、大学に行きました。僕が何で128人も殺しながらやってきたかって言ったら、やっぱり助かった、助かったって自ら助けた子たちが多くて、その子たちが常にメール・電話・講演会に来て近況報告してくれて、その姿が僕の力ですね。それ以上の喜びはないですね。亡くした子も多いけど、それ以上にそこから立ち上がって自ら歩き出してくれた子もたくさんいますから。

副住職

すばらしいですね。先生は、ラジオでお遍路のお話をされていましたが？

水谷

弘法大師空海は凄と思います。そういう意味で言ったら山伏の修験道も

凄いですね。修験宗の宮城泰年ご住職は親友です。

水谷

要は、悩んでしまったり苦しむと内に籠りがちになり昼夜逆転します。どんどんどんどん考えることが負のスパイラルになります。大体においてなぜ悩むか？いわゆる心身の分離ですよ。体と心と頭が分離するから夜眠れなくなる。今の文明社会そのものでしょう。体は使わない。道具がある、車がある、電話がある、テレビがある。反面でどこにいたって人の目気にして、もう本当に耳そばだてて、車に気を付けて、これが全ての悩みの原因だと思います。仏様も仰っています。「身心合一」、「身心一如」と。それをもっと大きくすれば「梵我一如」、いわゆる宇宙の大きな（梵）ブラフマンと（我）アトマンを一体にしると仰っています。まさにそれが「禅」であって、「禅」というのは「静」ですよ。動かないで「身心一如」から「梵我一如」にもっていく方法論ですよ。一体感となつて宇宙の優しさを引き受け、やっぱり周りの自然の中に溶け込んでいく。

それに対して修験宗とか密教の考え方は、大阿闍梨千日回峰行も含めてあれは逆の方法だと思えます。どうせ心と頭が疲れるなら身体を疲れさせようと。禅宗は、体はどうせ疲れないのなら、心と頭も休ませようと。両方両極端だけと言っていることは同じで、「身心一如」だと思えます。それは非常に心の癒しになると思います。今の日本の文明社会は身体を大切にしない。夜眠れないっていうのは身体が疲れていないからです。心と頭が疲れていて、だったら動けるはずなのに、睡眠剤を飲む。

水谷

でも、弘法大師様は1200年前に四国八十八ヶ所を始められた。1350kmぐらいあるそうですから、毎日歩くと疲れて夜よく眠れます。また、同行二人で弘法大師様と一緒に歩いていますし、「お接待」といって人の優しさにも沢山触れます。「お茶飲んでって」「雨宿りしてって」。もうほとんどの心の病は治りますね。僕はどれくらい送ったか？でも、このごろの若い奴はお遍路じゃ足りないっていうので、西国三十三ヶ所を勧めています。

す。これは、未だかつて一人も歩ききっていない。

副住職

距離ありますよね。

水谷

凄いです。青岸渡寺から始めて最後は敦賀ですけど、姫路の書写山回つて。あれは、一筆で回ったのは未だかつていないですね。途中でへこたれてしまいますね。特に、熊野からがきつ。最初の熊野の登りと、熊野から姫路の方に抜けるところの距離の長さ、135kmくらいあるのではないのでしょうか？一番長い。まあそのうちでてくると思いますが、あれはいいと思います。だから、結局は「禅」と同じこと、「身心一如」です。

副住職

その通りですね。「般若心経」のお話しもされていましたが、、、

水谷

仏教は勉強しています。古代仏教に関しましては、パーリ語も読みます。でも、やっぱり般若心経です。あそこ

で全ては始まって全て終わる。あの字の背景みるとそこで溶け込みます。

副住職

先生の般若心経のよさってどこですか？

水谷

いややはり、全ての仏教思想の四苦、生・老・病・死から含めて「空即是色色即是色」、いわゆるこの世の中の虚しさとか我々の持つている「色（しき）」という概念の問題とかを全て説いていて、「色（しき）」というのは二つあるんです。「色（しき）」とあとは知識の「識（しき）」と、それを統括して「観」という思想がある。「観」というのはもつと多いのです。「色」というのは主に「感じる」こと。そして「識（しき）」は、どちらかというと頭です。心と頭です。それを統括して「観」、直観の「観」ですね。これはもつと広い概念で、「観」の概念まで来るとそこから実は唯識論になります。

唯識論では、人間は宇宙から一生懸命頭や体で飛び出そうとしている。外

側へ出よう出ようとしている。その宇宙の周りからはみ出た部分が考えとか感じるっていうことで、それ自体が

「我執」、我が作ってるものなんです。でも根っこには、阿頼耶識という根本で宇宙とくっついている部分があります。それをそぎ放すと、孤独の中で心を病む。だから、御仏は全部をここに納めなさいってというのが般若心経だと思えます。「空」だから納めなさいという。これは実におもしろい。本当に仏というのは凄い人だと思えます。

副住職

ありがとうございます。最後にお伺いします。先生から見てお寺の可能性とは？

水谷

いいですよ。簡単です。いつも言っていることです。かつて日本に精神科医はいませんでした。カウンセラーも保護司もいなければ、児童福祉員もいなければ、民生委員もいなかった。それに孤児院もなかった。なぜなら、一部の真宗とかを除いて妻帯を認められませんでしたから、仏教はお寺自体

で、檀家さんが両親亡くなって孤児になったら寺男、優秀な子は自分の跡継ぎにして、そうじゃない子は作男というような形で寺領の畑を耕させました。

また、悩んだ時は地元の檀那寺に行つて和尚様にお話しを聞いて頂き、カウンセラーや精神科医の役目もしました。それどころか、実は聖護院大根や広島菜とか種の開発をして全国に広めたり、農業の方法、肥料のやり方を教えたり、化学を教えたり、字を教えたり、学校とか研究所の働きもしていたわけです。それが、神仏分離でいわゆる国家神道のなかで明治10年代に妻帯令が出、その中で仏教界も変質してまった。

信仰にそのまま生きていく方々も多かったでしょうが、どちらかといえば葬式仏教化してしまつて、それがもう、昭和になって甚だしくなつてしまつたわけです。たとえば、枕経といって仏教で一番大事なお経というのは、亡くなる前に本当に亡くなる人に寄り添いながら、そこで仏様のところに一緒に行くとういうことです。それなの

に、今日本の病院で葬儀で入ったら追いつかれるでしょう。おかしいですよ。皆さん方もそれを克服しようとしなかつた。

でも、それが今変わろうとしています。もうこれだけ20世紀文明的なもののなかで、あるいはお金だとか物質主義の中で生きてきて、ふと振り向いたらみんな寂しいのですよ。抛り所がない。だから人に寄り添つてみたりするけど、人は裏切ります。男性依存女性依存では解決はありません。そんな時に必要なのは、やっぱり信仰だと思います。それは、カトリックでもいいしプロテスタントでも仏教でもいいと思う。何故宗教が生き残つたかといつたら、必ず悩める人苦しい人のそばに寄り添ってきたからです。ニセモノの宗教なんかいっぱいあつたと思えます。みんな滅んでいます。仏教はきちんと2500年続いてきています。キリスト教だつて2000年、そこには本物があるからです。

それをあまりに粗末にしたのが20世紀です。人間、ふと振り返つたらポイントとこの宇宙とのつながりが切れる

と、自分つてのはどうしようもない不安定なものになってしまいます。だからやっぱりもう一回、今なら間に合うと思います。

水谷

不登校の子をお寺においてもらうと、学校に戻る日が短くなります。また、リストカットの子はお寺や教会じゃ切れません。だつて、お寺で立ち小便や喧嘩はできません。鳥居のマークや卍のマークがあるとそういうことはしづらいものです。まだ日本人には、その文化が残っています。だから、『良寛さんのいる寺造りプラン』といつて、8年前から各宗教界に宗教施設を開けてくれとお願いしています。本当に子供たちが遊び、悩んでいる人たちが本堂でお話をしたりできればいいんです。もう4000ヶ寺やっていますよ。

副住職

それはすばらしいですね。

水谷

浄土真宗西・東、浄土、臨濟、曹洞、真言、日蓮、黄檗、天台、いろいろ



るな宗派の若い僧侶たちが動いてくれています。東北の曹洞宗の青年僧侶の会や、この間も曹洞宗グランドホテルで講演させていただきました。教誨師の方や教育関係の方々がいい形で動いて下さっています。他にも立正佼成会、金光教団、PL教団が近畿から開け始め、創価学会が今関東4県で2つづつ開け、キリスト教団や天理教団も開いていただいています。やはり、子供が遊んでいたたり、悩んでる人が涙を

流しながら御仏に祈る。それがお寺や宗教施設の原風景ですよ。

副住職

その通りですね。

水谷

やはり、御仏とか本堂とか聖なる場所には力があるんです。まさにそれを皆さん方が持つておられる。たとえ『夜回り』。僕はこの格好でしま

すけれども、もし僧衣でやったら誰も手を出してこないでしょう。夜の人間ほど、本当に仏様お坊様を大事にします。まだそれが残っているうちに、やっぱり社会に対して仏教者としてあるいはお寺として、動いていってほしいかと思えます。

考えることのなかには、救いはないと思います。祈ればいいのです。人は弱い存在だから。継るのなら人ではな

くて仏に続けばいいんです。人は逃げますが、仏は逃げません。

副住職

本日は、大変ありがとうございました。とても参考になるお話しでした。是非、私も精進してまいりたいと思います。

(終)

『お知らせ』

この度、目出たく副住職がご成婚されました。お相手は、飯塚敦子さん(36)。前橋市出身。一般家庭出身で分からないことが多々あると思いますが、宜しく願いいたします。



住職日記 『本證妙修』

『本證妙修』とは、わが曹洞宗の教えの基本である。

私たち曹洞宗は、鎌倉時代の道元禪師を宗師と仰ぎ、

①懺悔滅罪(さんげめつざい)

↓もろもろの罪咎を懺悔すること

②受戒入位(じゅかいにゆうい)

↓戒律を受け、仏の弟子になること

③発願利生(ほつがんにりしよう)

↓願をおこして、他を利用すること

④行事報恩(ぎようじほうおん)

↓事を行い、恩に報いること

↓大切な教えの根幹にしている。

この①と②を「本證」といい、③と④を「妙修」と呼んでいる。『本證妙修』とは本来覚った仏である存在が、仏の修行を行うことである。

元々、道元禪師『弁道話』の中に出る言葉から、後になって生み出された曹洞宗の修証観に関わる用語である。なお、伝・懷辨禪師『光明蔵三昧』に「妙修本証」の語が見え、また江戸時代の学僧・面山瑞方師『面山広録』巻13には「本証妙修」という四字句が見える。

簡単に説明すると、この①から④を2つに分けると分かりやすい。

人は、

①「懺悔すること」

↓滅罪「自分の罪を滅する」

②そして、「戒を受けること」

↓入位「仏の弟子になり位を得る」

③さらに、「願を發すること」

↓「他を利用することに喜びを感じ」

④最後は、「事を行うこと」

↓「先人たちの恩に報いんとすること」

このときに、大切な「行事」が実は「受戒会」になる。

「受戒会」を行うことは私の希望だが、なかなか大きな行事なので地方の寺院にはできない。

なので、瑞岩寺では数人を集めてのミニ「在家受戒(得度式)」を行っている。

このときに偉い戒師さまに頂戴するのが、ご葬儀のときに授けるいわゆる「戒名」だ。

だから、本来は生前に受けるのがベストであり、ご縁があればどんなに仏弟子になり、ひとつでも二つでも仏の教えに触れて欲しいもの。

人が亡くなると、お通夜や葬儀に持っていくのが、「御霊前」(まだ、仏に成る前の「霊」だから)。

そして、葬儀をして「戒名」を頂戴し「仏弟子」になると「ほとけ」の位に入るの「御仏前」だ。

大切なのは、お釈迦さまの教えを実際の生活に取り入れて実践すること。

よく、お寺さまに差し上げる袋に「お布施」と書く。なぜ、御仏前ではなく、「お布施」と書くのか?

古来、衣服は貴重で、亡くなった人の衣服も遺族が大切に縫い直して使用していた。

同じように余った布を僧侶にも差し上げた。

そういうときに、「布は何度も何度も洗うことで色が落ちで無垢になる。無垢になればなるほど、色に染めやすくなる。」

同じように「私たちの修行は何度も何度も布を洗うことだ。そして、身と

口と心を清浄にしてゆく。そして、「仏法」の色に染め上げていくのだ。そのときに、大切なのが、「戒律」(十善戒)ということ。

十善戒

不殺生(ふせつしよう)

・ ・ ・ むやみに生き物を傷つけない

不偷盜(ふちゆうとう)

・ ・ ・ ものを盗まない

不邪淫(ふじやいん)

・ ・ ・ 男女の道を乱さない

不妄語(ふもうご)

・ ・ ・ うそをつかない

不綺語(ふきご)

・ ・ ・ 無意味なおしゃべりをしない

不悪口(ふあくく)

・ ・ ・ 乱暴なことを使わない

不両舌(ふりょうぜつ)

・ ・ ・ 筋の通らないことを言わない

不慳貪(ふけんこん)

・ ・ ・ 欲深いことをしない

不瞋恚(ふしんに)

・ ・ ・ 耐え忍んで怒らない

不邪見(ふじやくけん)

・ ・ ・ まちがった考え方をしない

そしてこれを四恩(国君、兄弟、聖賢、父母)に対して行つてゆくのである。

だから、『本證妙修』とは、言い換えると、「修証不二(修証一等に同じ)」とも言い、修行と悟りは本来ひとつであると曹洞宗は説いています。

身と口と心が整ったところ、そこにこそ「安心(あんじん)」があると我が宗門では教えています。

合掌 瑞岩寺副住職長谷川俊道 (副)

お知らせ

podcast

「こまったときの聴き込み寺」
(毎週金曜日好評配信中)



最近、いつコンビニに立ち寄りましたか? 唐突な質問で困惑させてしまいましたね。普段の生活において、気軽にフラットと、もしくは何かがある日常です。でも、こまった時、何か心に引っ掛かる悩みが生まれた時、あなたはどのようにしていますか? 当番組は、群馬県・太田市にある瑞岩寺の住職・HASEさんの、実はコンビニの倍近くの数が存在するお寺に、何かあればフラットと立ち寄ってほしいをテーマに生まれました。「職場の上司と反りが合わず仕事が苦痛です」「子どもの好き嫌いが多くて困っています」「ミュージシャンへの夢を捨てきれず悩んでいます」「明日は初デート! どうしよう!」etc. 人には言えない悩みも、日常のささいな疑問もHASEさんにお話してみたい。何かと忙しく、悩み多い日々。お耳をお貸し下されば、少し疲れたそんな心をHASEさんがチャクリとホンワカ癒やします。【HASEへの質問・お悩み相談は】
kikomi@zuiganji.com
kikomi@zuiganji.com
ペンネーム、年齢、性別ともにお寄せ下さい!
・ iTunesでお聴きになる方には、
https://itunes.apple.com/jp/podcast/komatta-shino-tingkikomi-si/id624486999?mt=2
・ PCで直接聴取される方には、
http://podcast5.kitets.jp/kikomi/

すべての人に佛さまの智慧と慈悲を
宗教法人 慈眼山 瑞岩寺
群馬県太田市矢田堀町388
TEL:0276-37-1231/FAX:0276-37-5535
E-mail:info@zuiganji.com
Website:http://www.zuiganji.com

ブログ http://ameblo.jp/zuiganji/
◇御意見、御要望はいつでもお知らせ下さい。
◇お身体をお大切に、お健やかに暮らしてくださいませ。
◆み仏さまの御加護を心からお祈りいたします。 合掌